

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー									
科目名	リーガルマインド								
担当教員	杉山 幸一,永沼 淳子								
対象学年	1年,2年	開講学期	前期						
曜日・時限	火1,木3								
講義室	1301	単位区分	選						
授業形態	講義	単位数	2						
科目大分類	—								
科目中分類	修士								
科目小分類	基盤								
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1 [意欲・経験・適性] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察（25%） DP2 [学識・専門技能] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（50%） DP4 [主体性・多様性・協働性] 多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力（25%）								
教員の実務経験	特になし。								
成績ターゲット区分									
科目概要・キーワード	危機管理学の研究を進める上で不可欠な、法学の知識及び技法を修得する。本講では、ケーススタディ、テキスト・クリティーク等の手法を適用し、憲法、行政法、刑事法といった国家の枠組み及び権力作用に関するいわゆる公法の法規範、並びに、民法、商法といった、私人間の権利義務関係に関するいわゆる私法の法規範への、構造的な理解を形成する。これらの研究プロセスを通じて、意欲・経験・適性の資質を確認するとともに、学識・専門技能等の汎用的能力を開発することを目的とする。 (永沼 淳子／7回) 私法領域のテーマを中心に、法学の知識及び技法を教授する。 (杉山 幸一／8回) 公法領域のテーマを中心に、法学の知識及び技法を教授する。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：立憲主義、憲法、行政法、民法、商法、判例								
授業の趣旨	■副題 公法・私法と危機管理 ■授業の目的 危機管理に係る法律や仕組みを知るだけでなく、法律を実際に適用する行為である法解釈を養う。そのため判例を用いて法解釈ができるようにする。 ■授業のポイント リーガルマインドを養うため、判例中心に講義を進める。法律の知識や判断力や思考力などを養い、いざというときに解釈し、実践できるための姿勢を養成する。								
総合到達目標	■災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するため、リーガルマインドを習得する。 公法と危機管理との関係を説明できる。（第1回～第8回） 私法と危機管理との関係を説明できる。（第9回～第15回） ■危機的状況に際しての判断力・思考力・表現力等の汎用的能力を開発することを目的とする。 危機的状況に際しての判断力・思考力の基礎となる公法や私法の知識を用いて、法解釈を行うことができる。（第1回～第14回）								
成績評価方法	■授業内のレポート：4回（80%、DP1・DP2・DP4） （評価の観点）講義内容を踏まえ、与えられた設問に対して、的確かつ論理的に答えているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）授業中に説明する。 ■授業における個別質問への回答内容等授業参加度（20%、DP1・DP2・DP4） （評価の観点）判断力・思考力・表現力を評価します。 （フィードバックの方法）講義中、必要に応じてコメントします。								
履修条件	特になし								
履修上の注意点	特になし								
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業のテーマ 公法と危機管理 ②授業の概要 公法領域に属する法律を中心に危機管理との関係について理解する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）公法に関する資料を読み、危機管理との関係について確認する。 ④復習（120分）講義ノートを確認し、取り上げた事例をもとにリーガルマインドを確認する。 【担当教員：杉山 幸一】</td></tr><tr><td>2</td><td>①授業のテーマ 憲法と危機管理① ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、憲法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。</td></tr></table>			回	内容	1	①授業のテーマ 公法と危機管理 ②授業の概要 公法領域に属する法律を中心に危機管理との関係について理解する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）公法に関する資料を読み、危機管理との関係について確認する。 ④復習（120分）講義ノートを確認し、取り上げた事例をもとにリーガルマインドを確認する。 【担当教員：杉山 幸一】	2	①授業のテーマ 憲法と危機管理① ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、憲法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。
回	内容								
1	①授業のテーマ 公法と危機管理 ②授業の概要 公法領域に属する法律を中心に危機管理との関係について理解する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）公法に関する資料を読み、危機管理との関係について確認する。 ④復習（120分）講義ノートを確認し、取り上げた事例をもとにリーガルマインドを確認する。 【担当教員：杉山 幸一】								
2	①授業のテーマ 憲法と危機管理① ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、憲法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。								

	④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：杉山 幸一】
3	①授業のテーマ 憲法と危機管理② ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、憲法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：杉山 幸一】
4	①授業のテーマ 憲法と危機管理③ ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、憲法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：杉山 幸一】
5	①授業のテーマ 行政法と危機管理① ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、行政法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：杉山 幸一】
6	①授業のテーマ 行政法と危機管理② ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、行政法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：杉山 幸一】
7	①授業のテーマ 刑事法と危機管理① ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、刑法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：杉山 幸一】
8	①授業のテーマ 刑事法と危機管理② ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、刑法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：杉山 幸一】
9	①授業のテーマ 1.ガイダンス 2.私法領域と危機管理 ②授業の概要 授業の概要、目的、到達目標、授業の進め方、教科書、成績評価などについて説明することで、受講生が次回以降の授業準備を行えるようにする。（DP-1） ③予習（120分）シラバスを確認し、授業計画を立てる。 ④復習（120分） 授業の目的と到達目標を確認し、学修計画を立てる。 【担当教員：永沼 淳子】
10	①授業のテーマ 民法と危機管理① ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、民法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：永沼 淳子】
11	①授業のテーマ 民法と危機管理② ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、民法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：永沼 淳子】
12	①授業のテーマ 民法と危機管理③ ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、民法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：永沼 淳子】
13	①授業のテーマ 民法と危機管理④ ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、民法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：永沼 淳子】
14	①授業のテーマ 商法と危機管理① ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、民法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。 ④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整頓しておく。 【担当教員：永沼 淳子】
15	①授業のテーマ 商法と危機管理② ②授業の概要 危機管理において重要なことは事例に対していかに法を適用し解決するかである。そこで、今回は事例問題を取り上げ、民法を用いてその解決方法について講義する。（DP-1,2,4） ③予習（120分）今回取り上げた事例の解決のために用いた判例・学説を理解し、批評できるようにしておく。

	④復習（120分）事例問題の解決方法を確認し、講義ノートを整理しておく。 【担当教員：永沼 淳子】
関連科目	危機管理法制 1 ～ 6、リスクファイナンス法特講、犯罪・刑事司法特講、社会安全・治安維持特講、テロリズム対策特講など
教科書	特になし
参考書・参考URL	判例六法（最新版）
連絡先・オフィスアワー	講義時にお知らせします。
研究比率	■危機管理と法学とのバランス 危機管理20%；法学80%

